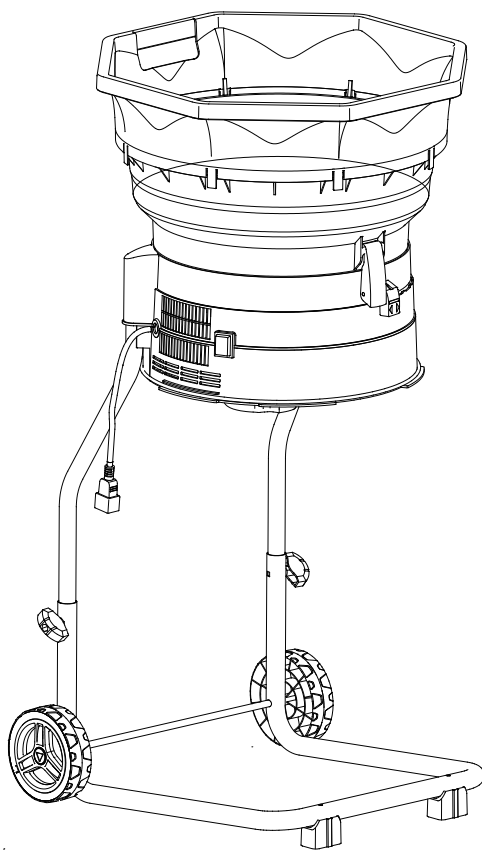


# リーフシュレッダー

ER U150-JP

雑草・落ち葉粉碎機

## 取扱説明書





この度は「リーフシュレッダー雑草・落ち葉粉碎機」をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご理解の上、安全に正しくお使いくださるようお願い致します。

お読み終わった後もこの取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

なお、不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が想定される」内容
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容

## 電動工具共通の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 警 告

- 作業場は明るくし、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった暗い場所や狭い作業台は、事故の原因となります。
  - ・ 強風の時や夜間や薄暗い場所での使用は危険です。昼間の明るい時間帯で作業してください。
- ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
  - ・ 火花が引火して火災の原因となります。
- 使用中は子どもや第三者を近づけないでください。
  - ・ 事故の原因となります。
- 電源プラグは適正な電流・電圧のコンセント、延長コードでご使用ください。
  - ・ 一般家庭用電源（AC100V）対応機です。出力を確認のうえ適正な電源・延長コードをご使用ください。
- 本体・スイッチ・プラグ・バッテリーの修理や改造をしないでください。
  - ・ 本製品は該当する安全規格に適合しています。改造されると火災や感電の恐れがあります。
- 感電に注意してください。
  - ・ 使用中に、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（例えば、金属製のパイプ、エアコンの室外機、電子レンジ、冷蔵庫の外枠など）
- ペースメーカーなどをご使用の方は、稼働中の本品に近づけないでください。
  - ・ 電磁波の影響により誤作動を起こす可能性があります。
- 雨天時の取扱に注意してください。
  - ・ 雨ざらしにしたり、極端に湿気の多い所や高温な場所で保管をしないでください。
  - ・ 濡れた手でコンセントプラグやバッテリーに触らないでください。
  - ・ 小雨、濃霧、雨天時の使用はおやめください。感電の危険があります。
- 電源コードの扱いに注意してください。
  - ・ 電源プラグやコードは使用前に損傷や破損がないかよく点検をしてください。使用時は無理に引っ張ったり挟み込んだりしないでください。
  - ・ 電源コードは熱・油・角のあるところで使用しないでください。電源プラグやコードが損傷したり、傷んだりしますと、感電、火災の恐れがあります。

# 警 告

10. 使用環境に見合った延長コードを使用してください。
  - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードの延長コードを使用してください。
  - ・ 延長コードを使用する場合は十分な太さの出力に見合ったコードを使用してください。
11. 使用しない電動工具の保管は子どもの手の届かない、乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
12. 無理な使用を避けてください。
  - ・ 取扱説明書にある機能を超えた作業はしないでください。能力に見合う速さで効率的に作業をしてください。
  - ・ 小型仕様の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なうような負荷のかかる作業に使用しないでください。
  - ・ 著しく疲れている時やアルコール、医薬品等の摂取により正常な判断ができない体調の場合は使用しないでください。
13. 作業に適した服装で行ってください。
  - ・ だぶついた衣服やネクタイ・ネックレス等の回転部に巻き込まれる恐れがあるものは着用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
14. 安全保護具を使用してください。
  - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。必要に応じて、ヘルメット、防じんマスク、防音保護具を併用してください。
15. 無理な体勢で作業しないでください。
  - ・ 斜面など足場の不安定な場所、無理な姿勢での作業は思わぬ事故になる恐れがあります。
16. 不意な始動を避けてください。
  - ・ 本体を移動する際はスイッチに手がかからないよう注意してください。
  - ・ 移動、手渡し、メンテナンスの際は電源プラグを抜いてください。
  - ・ 稼働させたまま放置しないでください。
17. 破損・故障・異常がないか確認のうえ、電源を入れてください。
  - ・ 使用前に本体の破損・部品の破損・締め付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか十分に確認してから使用してください。また、本体を誤って転倒、ぶつけた際も同様に確認してからご使用ください。
  - ・ 故障・異常が発覚した際は、大変危険なためただちに使用をやめ、販売元または弊社まで修理依頼をお申し付けください。
  - ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
18. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・ 点検・調整・清掃する場合は電源を切り、電源プラグを抜いて作業を行ってください。
  - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って確実に取り行ってください。
  - ・ 使用前に、調節に用いたレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。振動によって飛散し、怪我をする恐れがあります。
  - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
19. 取扱説明書で指定された正しい付属品やアタッチメントをご使用ください。

## 「リーフシュレッダー」の安全上のご注意

●ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「リーフシュレッダー」  
として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。

### 警 告

1. 炎天下での作業はしないでください。作業される場合は十分に暑さ対策をし、長時間高温下にさらされないよう、休憩をとりながら作業してください。
2. 本製品は防爆構造になっておりません。ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
3. 電源プラグを抜き差しする際には、必ずスイッチをオフにし、動作が止まっていることを確認してから行ってください。また、使用中は、コードを不用意に抜かないよう注意してください。
4. 濡れた手で施行・組み立てしたり、電源プラグの抜き差しをしないでください。
5. 布など燃えやすい素材のカバーを覆ったまま、運転させないでください。熱がこもることによる火災の恐れがあります。
6. 稼働中は投入口、排出口には手や顔を近づけないでください。停止後も、完全に回転の動作が止まるまでは絶対に手や顔を近づけないでください。
7. 使用中はガラスや石、鉄くずなどが投入口から入らないよう注意してください。
8. 作動させながらの移動や電源プラグをさしたままの移動はしないでください。機械や付属品に設計されていないような作業をしないでください。
9. 長時間の継続作業は避けてください。疲労による事故・手のしびれ・ハクロウ症などの恐れがあります。目安として30分使用ごとに休憩を取ってください。
10. 枝や葉を噛んで動作が不安定になった際は、直ちにスイッチをオフにしてください。稼働中に投入口を覗き込んだり手を入れたりしないでください。
11. 使用中は枝や葉が投入口から飛び出す恐れがあります。投入口に顔や手を近づけたり、止まった枝を手を入れて取り除いたりしないでください。
12. 詰まりが取れない場合は一旦スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてから、引っかかった草や葉を取り除いてください。
13. 稼働させたままその場を離れたり、放置しないでください。故障・事故の原因になります。
14. 使用中、モーターから異音がしたり、異常発熱したりした時は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、販売元に点検・修理を依頼してください。

### 【法令を遵守してご使用ください】

●騒音規制について…騒音・振動規制法については、各自治体ごとに政令で定められた内容が異なります。お住まい管轄の法令をご確認のうえ、近隣の方へのご迷惑とならないよう十分に配慮してご使用ください。

●本体のご使用に際し、本製品に不備がない事由により使用者が第三者に損害を与えた場合は、その責任を負う義務があります。

# ⚠ 注 意

1. 本製品は枯葉・枯れ草の粉碎を想定された構造になっております。枯木（硬木）は粉碎しないようにしてください。
2. 多く水分を含んだ枝葉、ツル状の物や竹など繊維質の強い木を投入しないでください。詰まりや故障の原因となります。
3. 大きな木片や広がった枝葉、極端に長い草などは事前に切り分けてから粉碎してください。詰まりや故障の原因となります。
4. 過負荷により本体が急停止した場合は2分以上のインターバルをおいてから再稼働してください。
5. 本体の連続使用時間は、1時間の作業時間のうちモーターの実稼働時間が30分以内になるのを目安に、調整しながらご使用ください。
6. 刃部はこまめに手入れをし、よく切れる状態を保ってください。使用後は葉や草を取り除いた後、よく水分を拭き取ってください。内部に汚れが溜まった状態で作業を行いますと、発熱や発煙、火災の原因になります。
7. 本製品の電源として発電機は使用できません。家庭用電源のみ使用可能です。

## ⚠ 警告 アテンションシールの意味について

●お客様の安全のために、本体に貼られている以下のアテンションシールをご理解いただき、お守りいただくようお願いいたします。



表示に従わないとケガや事故の恐れがあります。



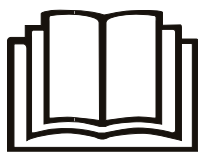
保護ゴーグルと防音保護具（市販の耳栓や防音イヤーマフ等）を着用ください。



手や腕を切断する恐れがあります。動作中は身体を近づけないでください。



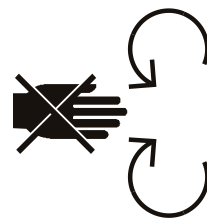
破片が飛び出す恐れがあります。投入口をのぞき込まないでください。



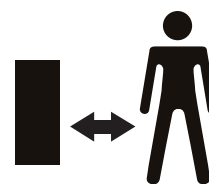
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。



使用しない時は電源プラグを抜く。破損したコードは使用しない。



手や衣類などを巻き込む危険性があります。絶対に近づけないでください。



作業中は稼働部から十分な距離をとり、第三者や子どもを近づかせない。

## 基本仕様

リーフシュレッダー 雑草・落ち葉粉碎機		ER U150-JP
電圧	100 V	
電流	15A	
モーター	15AMP	
回転速度	8,400rpm（無負荷時）	
サイズ（約）	幅 54× 奥行 54× 高さ 107,112cm（組み立て時）	
重さ（約）	8.9kg	
材質	樹脂、スチール、他	

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので  
あらかじめご了承ください。

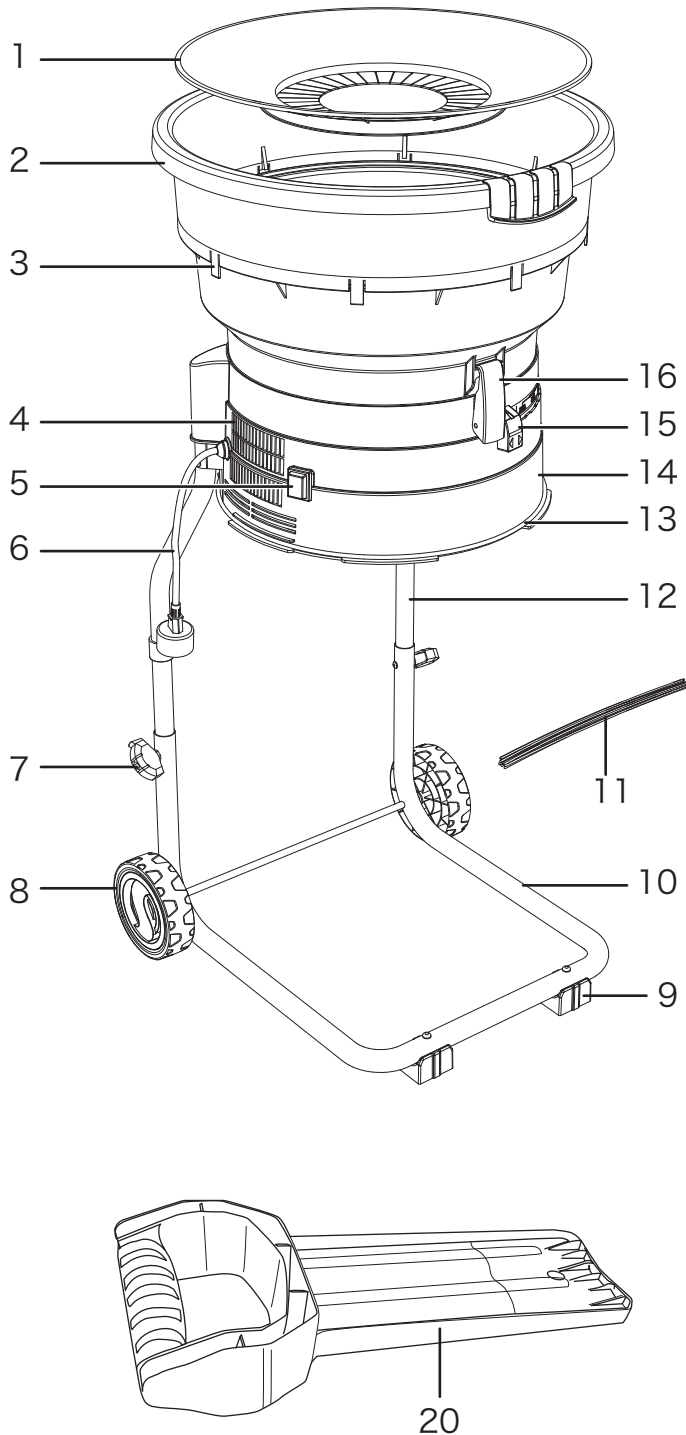
※付属品は保証書にある問い合わせ先からご購入いただけます。

## セット内容

- ・漏斗カバー
- ・漏斗
- ・モーター室
- ・パイプ脚上部 (x2)
- ・パイプ脚下部
- ・パイプ脚台 (x2)
- ・ねじ (x4)
- ・パイプ脚用ノブ・ボルト (各x2)
- ・タイヤ(x2)
- ・ホイール (x2)
- ・タイヤ軸
- ・ワッシャー (x4)
- ・割ピン (x2)
- ・交換用切断コード (x20)
- ・ダストバッグ

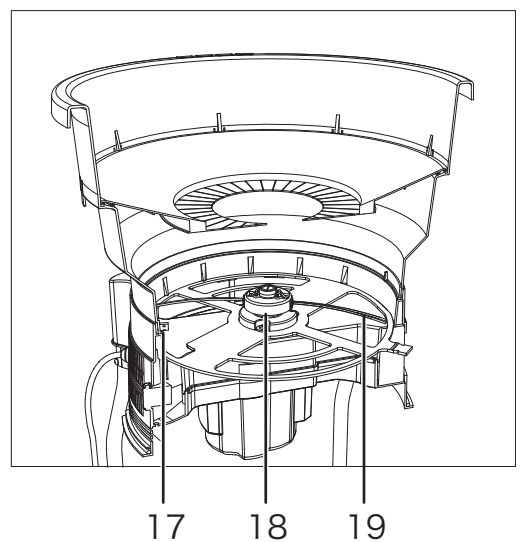
# 各部名称

## 本体分解図



- 1 漏斗カバー
- 2 漏斗
- 3 漏斗固定用つめ
- 4 通気口
- 5 電源スイッチ
- 6 AC 電源コード
- 7 パイプ脚用ノブ・ボルト
- 8 タイヤ・ホイール
- 9 パイプ脚台ネジ
- 10 パイプ脚下部
- 11 交換用切断コード
- 12 パイプ脚上部
- 13 留ゴム
- 14 モーター室
- 15 調整ダイヤル
- 16 固定レバー
- 17 刃
- 18 回転軸
- 19 切断コード
- 20 押しこみ棒

## 断面図



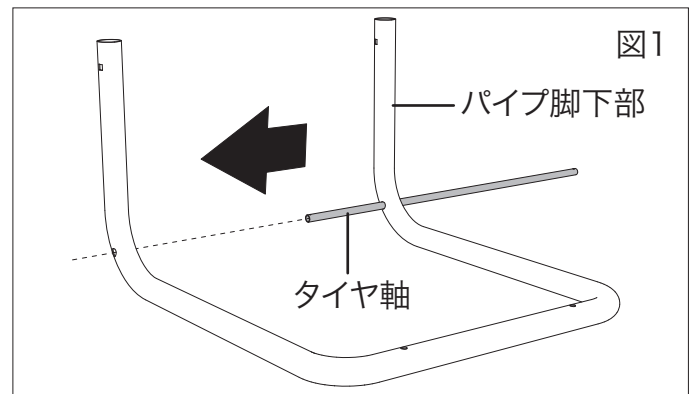
# 本体の組み立て方

●本体を逆さまに倒して脚の組み立て作業を行ってください。床や本体にキズがつく恐れがありますので下に毛布や段ボールなどの緩衝材を敷いて組み立ててください。

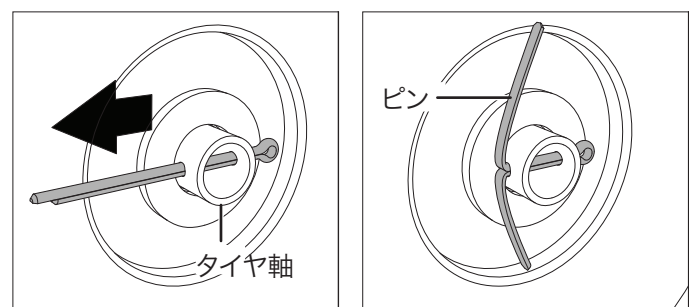
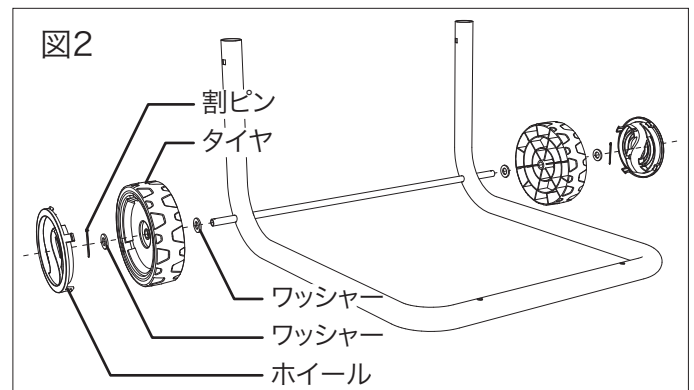
## 警告

- 組み立てが完全に終了するまでコンセントに接続しないでください。
- 完成するまでは本体とパイプ脚を立てないでください。

1.パイプ脚下部の両側からタイヤ軸を挿入します(図1)。

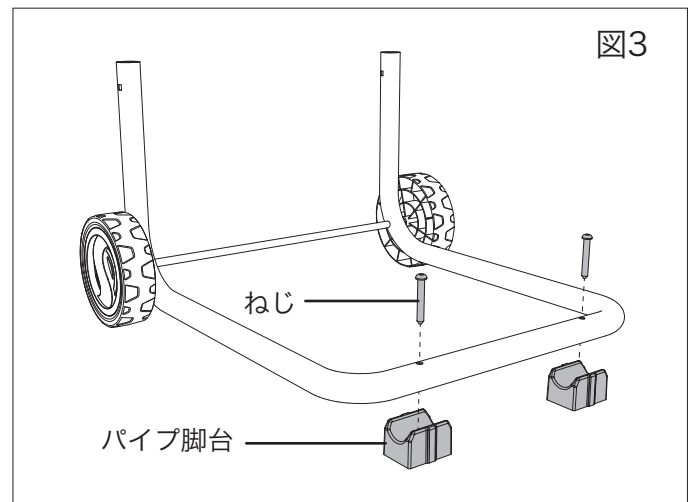


2.両端から、ワッシャー・タイヤ・ワッシャーの順になるようタイヤを入れてから、タイヤ軸の端にある穴に割ピンを刺します。割ピンを両側に開いて曲げ、タイヤが外れないよう固定します。最後にホイールをはめこみ、両側とも同じように取り付けます(図2)。

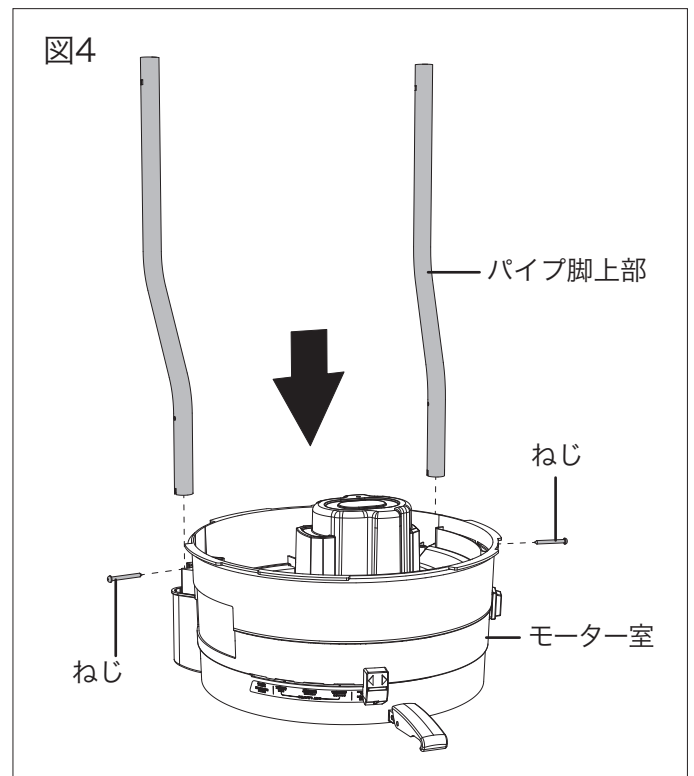




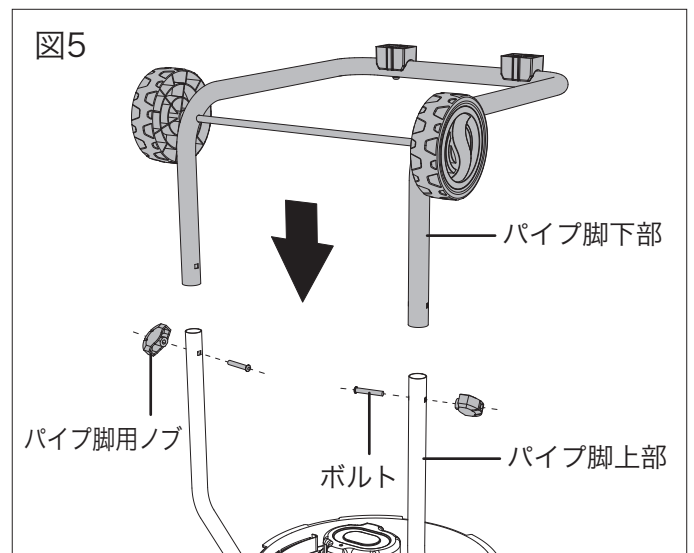
3.付属のネジ2本を使用してパイプ脚  
下部にパイプ脚台を取り付けます  
(図3)。



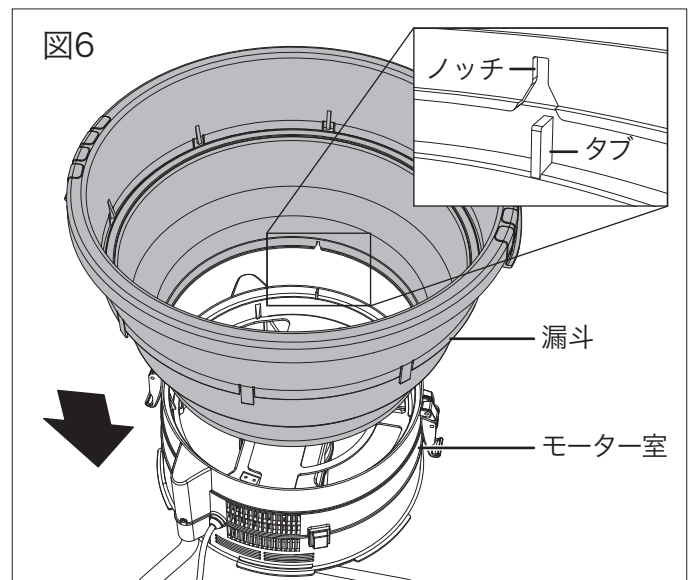
4.モーター室を逆さまにして置きます。  
パイプ脚上部をモーター室両側のソ  
ケットに挿入し、固定します。それぞれ  
穴の位置をよく確認し、位置を合わせ  
てからねじ2本を取り付け、固定しま  
す。(図4)。



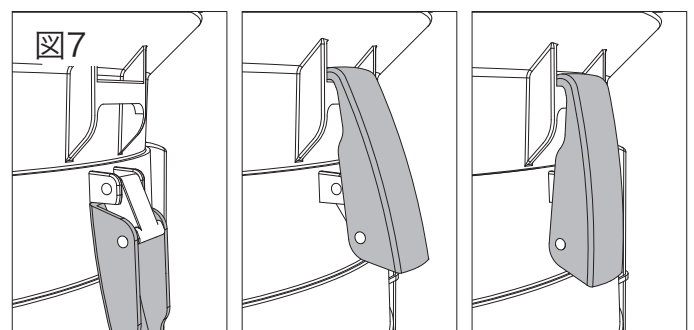
5.パイプ脚下部を上部の上に置きます。上部下部同士の穴を合わせ、付属のボルトとパイプ脚用ノブで両側を固定します(図5)。



6.本体を起こし、モーター室に漏斗を取り付けます。モーター室側にある小さなタブを漏斗側のノッチに合わせて入れてください(図6)。

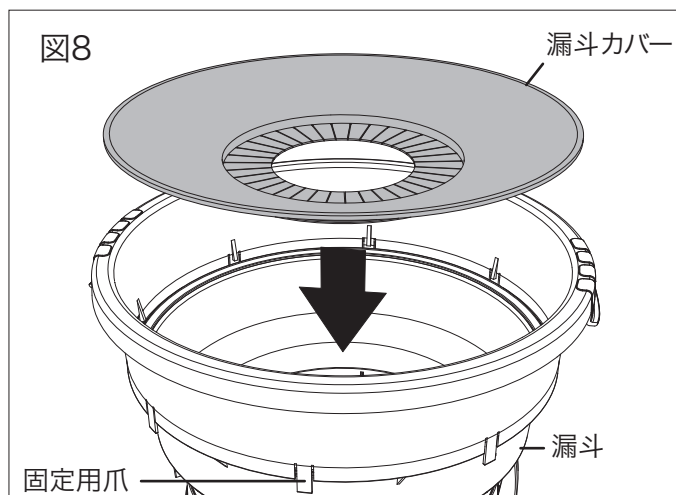


7.モーター室の両側にある2つの固定レバーで漏斗を固定します(図7)。



8.漏斗カバーを漏斗に取り付けます。漏斗の内側にある8つの固定用爪を押し上げて漏斗カバーがはまるよう設置します。(図8)。

9.漏斗カバーを取り外す際は、8箇所の爪を外側から押し込んでひとつずつ爪を外してから漏斗カバーを外してください。



## ダストバッグの付け外し

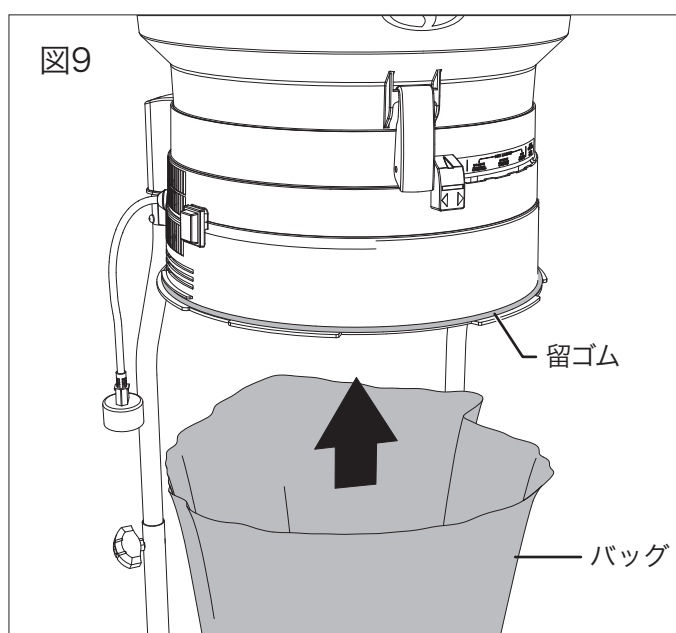
### ⚠ 注意

- ・ダストバッグは付属する以外の袋を使用することも可能です。用途によって、ごみ袋、紙袋、布製の袋等を下記の方法で設置してご利用ください。
- ・通気口がダストバッグに覆われていると放熱ができず、故障の原因となります。必ず通気口より袋が下になるように取り付けてください。

1.ダストバッグを開き、モーター室の下部にかぶせます。このとき、バッグがモーター室の通気口を覆わないよう注意して被せてください。

2.モーター室の下部についている留ゴムを、ダストバッグの上に取り付けて位置を固定します。(図9)

3.取り外す際は、留ゴムを上にはずしてからダストバッグを外してください。



# 操作方法

## 電源スイッチ：

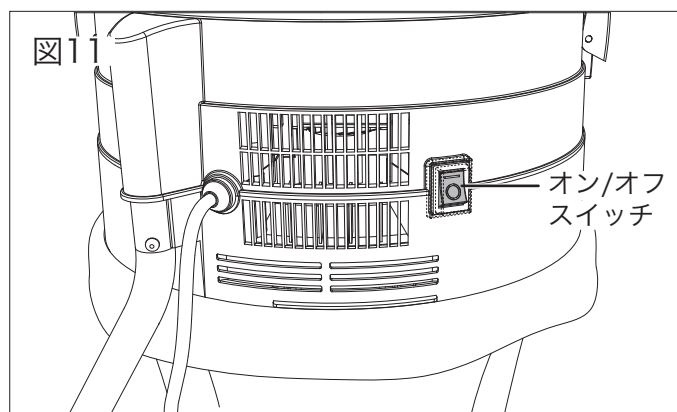
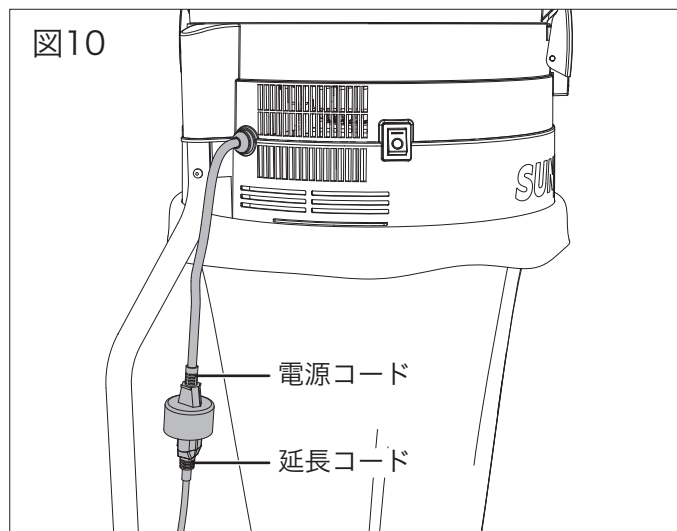
1. オン/オフスイッチが下側 (○) に入っていることを確認します。適切な延長コードを用意し、本体の電源コードをコンセントに差し込みます(図10)。

2. 本体を稼働させるには、上側のオン(■)にスイッチを入れます。下側のオフ(○)に入れると停止します(図11)。

3. 電源が自動的に落ちた場合は、少なくとも1分以上はモーターを休ませてください。

※当製品は過熱保護機能を備えた設計になっています。粉碎中にシュレッダーが詰まった場合、過熱保護機能により電源が自動的に遮断されることがあります。

4. 急停止した本体を再稼働するには、一度、オン/オフスイッチをオフに入れてから、スイッチをオンに入れ直してください。



## 警告

- 稼働中はいきなりプラグを抜かないでください。故障の原因となります。
- 作業中は防護メガネ、防音器具、防塵マスク等を着用してください。
- 作業中は絶対に投入口を覗かないでください。葉や茎が飛散することがあり大変危険です。
- 大量の枯葉を連続で投入し続けたり、絡まりやすい草木を大量に投入したりしないでください。故障や怪我の原因となります。
- 稼働中に手を入れたり、覗きこんで取り除いたりしないでください。

## 作業方法：

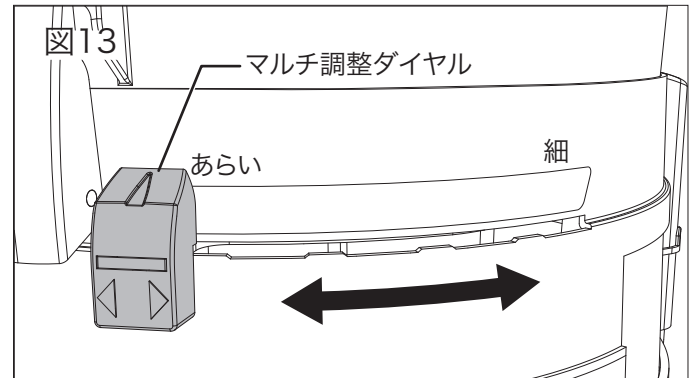
- 1.作動している状態で、粉碎したい葉や草を漏斗に入れます(図12)。図のように、葉はある程度まとまった量を投入する方がよく粉碎されます。
- 2.次を投入する前に、過負荷がかからないよう、完全に細断するのに十分な時間をとってから追加してください。
- 3.粉碎作業が終了したら、一旦、電源スイッチをオフにしてください。粉碎作業のない時はむやみに稼働させたままにしないでください。



## 粉碎の調整：

調整ダイヤルは、粉碎するサイズと速度を調整します。ダイヤルを一番左側のメモリに合わせると、粉碎処理は速くなりますが、粉碎サイズが大きくなります。

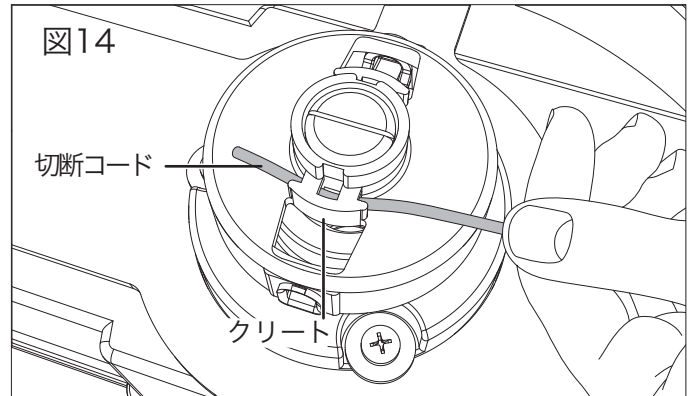
一番右側のメモリに合わせると、粉碎のスピードが遅くなりますが、最小の粉碎サイズに細断されます。用途に応じて、メモリを使い分けてください。(図13)。



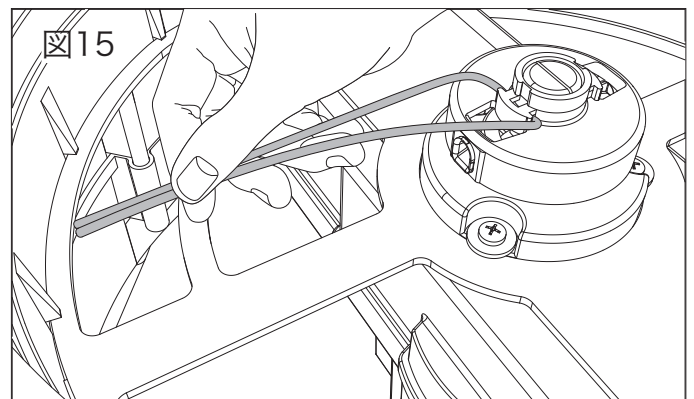
## 切断コードの取り付け方：

本機には、0.1インチx12.6インチ(2.5mmx320mm)の切断コードが2本回転軸に取り付けられています。切断コードのメンテナンスや清掃は、必ずスイッチを切り、プラグをコンセントから抜き、完全に止まるまで待ってから行ってください。

1. 破碎効率が著しく低下した場合は、切断コードを交換してください。磨耗した切断コードを取り除くには、漏斗カバーを取り外し、古いコードを切り取り、残りのコードを回転軸から引き抜きます。

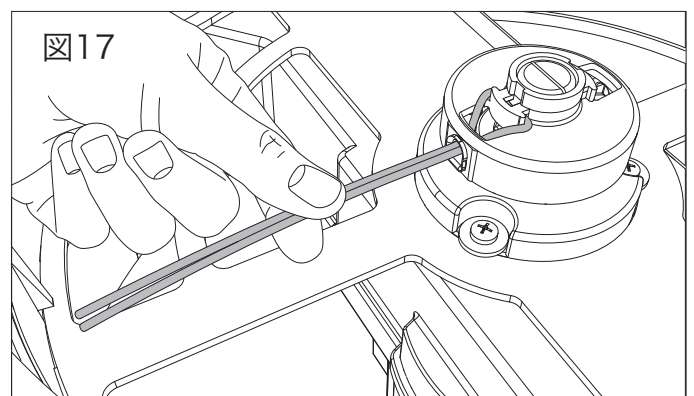
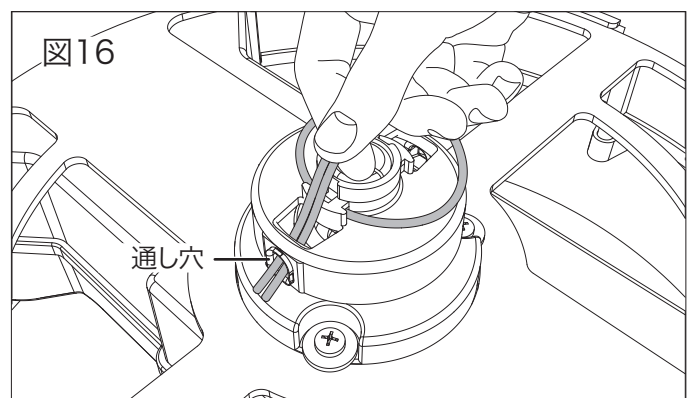


2. 新しいコードを取り付けるときは、新しいコードの一端を回転軸のクリートに通します(図14)。

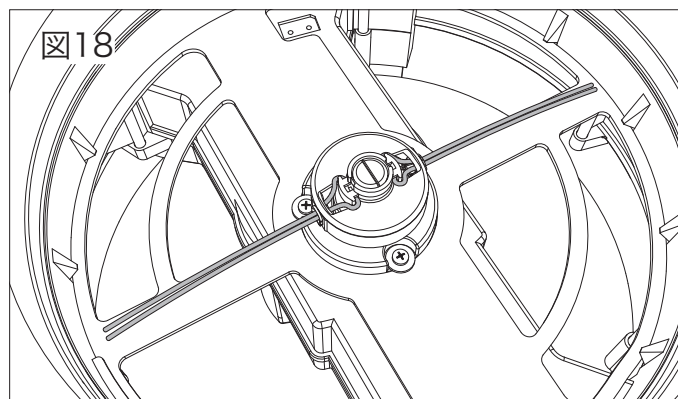


3. 線の両端の長さが同じであることを確認します(図15)。

4. 対応する通し穴にコードを通します(図16)。コードの両端がまっすぐで、長さが均一であることを確認しながら、コードをまっすぐにしっかりとのばします(図17)。



5.同じ手順でもう片方のコードを取りつけ、最後にコードをしっかりとばしてください(図18)。



## 警告

- コード交換の際は必ず電源コンセントから抜いて行ってください。
- 必ず、YARDFORCE 指定の交換用パーツをご利用ください。

## お手入れと保管



- ・本品の水洗いは絶対にしないでください。故障や感電の原因となり、大変危険です。また、雨ざらしになる場所での使用や保管はおやめください。
- ・クリーニングやお手入れを行う前には必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。停止後、本体が完全に停止するまで手を近づけないでください。

### 本体のお手入れ：

- ・使用後は毎回必ず本体内部を清掃してください。
- ・ダストバッグに入った葉屑は毎回必ず捨ててください。
- ・本体についた汚れや粉塵は乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ワックス、アルコール類、シンナー、ベンジンなどは故障の原因となりますので使用しないでください。
- ・ブラシやほうきを用いて漏斗カバーや漏斗についた葉屑や草片をきれいに取り除いてください。
- ・放熱用の通気口は常にきれいにし、葉屑や草片がないようにしてください。
- ・通気口をナイロンカバーや布などで覆ったまま稼働させると故障の原因となります。カバーをかけて保管する場合は稼働前に取りはずしてください。
- ・葉脂や草汁など汚れがひどい場合には、よく絞った布に中性洗剤をつけて水拭きし、最後に乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ・切断コードに破損や損傷がないか確認し、ある場合には新しいコードに交換してください。
- ・刃に葉脂や草汁などの汚れがないか確認し、付着している場合は乾いた布でよく拭き取ってください。
- ・定期的にモーター室内部の掃除を行い、破損や損傷がないか確認してください。
- ・取り付けのネジやボルト、パイプ脚に破損や損傷がないかよく点検してください。

### 【故障・修理】

修理はご自分でなさらず、不具合のある場合には直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または弊社にお申しつけください。

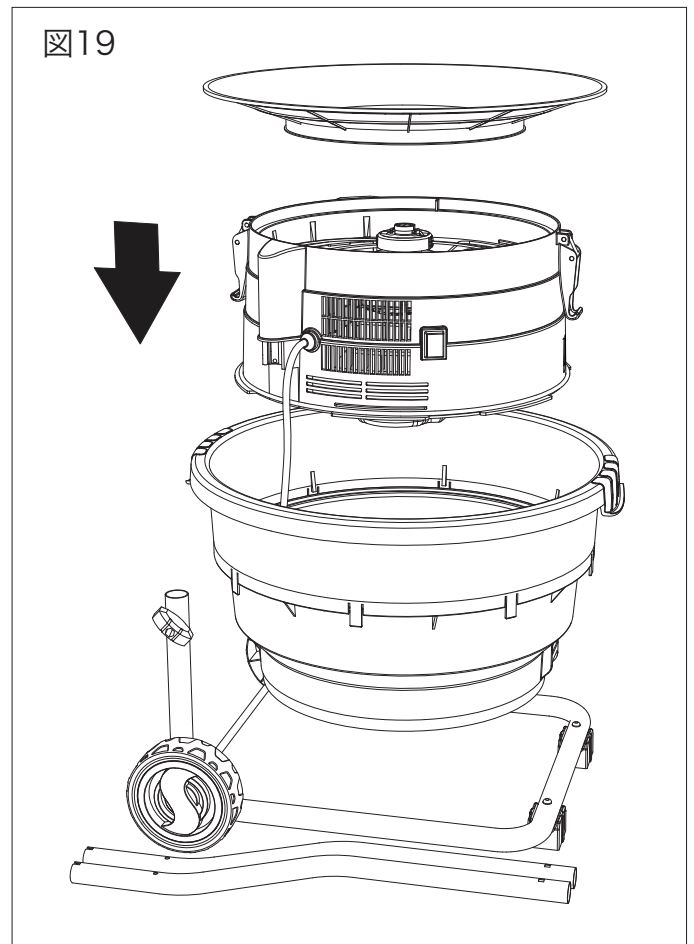


## 保管方法

- ・ 長期保管する際には、ビニール袋などに密閉状態で保管しないでください。
- ・ 子供の手が届かないところ、または錠が掛られるところで保管してください。
- ・ 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かないでください。
- ・ 直射日光が当たったり、車内など高温になるところには置かないでください。
- ・ ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かないでください。
- ・ 付属品と取扱説明書が紛失しないように、袋などにまとめて保管してください。

シーズン終了後、本体を保管する場合は、ユニットを分解し、以下の順序で部品を積み上げて保管してください(図19)。

- 1.本体からパイプ脚を取り外します。
- 2.モーター室から漏斗を取り外し、漏斗カバーを外します。
- 3.漏斗にモーター室を入れます。
- 4.漏斗カバーをモーター室の上に重ねておきます。
- 5.パイプ脚・タイヤは組み立てられた状態のままでも保管できます。収納場所に合わせて上部と下部を分解して保管してください。



## 故障かな？と思ったら

よくあるお問合せ	ご確認ください。
稼働できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コードの接続部が延長コードにしっかり最後まで刺さっていますか？奥まで刺さっていないと稼働できないことがあります。</li> <li>- ご使用の延長コードの最大電流をご確認ください。18A以上出力対応の延長コードをご使用ください。</li> <li>- 内部に異物が詰まっていますか？刃と回転軸をご確認のうえ、清掃をお願いします。</li> </ul>
パイプ脚の組み立てがうまくできない、外せない	<p>パイプ脚の上部と下部を組み立てる際、ネジ穴がうまく合わない場合は、ラバーハンマー等で叩いて位置を調整しながら入れ込んでください。</p>
異音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 通気口を枯葉や葉屑、ダストバッグや布などが覆っていないかご確認ください。覆っている場合は取り除いてください。</li> <li>- 使用中にモーターから通常とは違う稼働音がした場合は一旦止め、本体を休ませてください。そのまま使用すると故障の恐れがあります。</li> </ul>
スイッチを入れると稼働音が一瞬鳴るが、すぐ止まる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 回転軸を手で動かし、回るかどうかご確認ください。回転軸に草が絡まり回らなくなっていると作動時の過負荷で止まる場合があります。</li> <li>- 回転軸は手で回せるが、稼働できない場合は内部トラブルの可能性もあります。ただちに使用を停止し弊社お問合せ窓口にお問合せください。</li> </ul>
使用中にすぐ止まる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 過負荷により内蔵ブレーカーが落ちた可能性があります。刃の近くに汚れが溜まっていたり、挟まった葉屑がついていれば取り除き、少し休ませてからオンオフスイッチを入れ直して再稼働させてください。作業時間や外気温の高さによっては数時間～最長2日ほど休ませ、十分に冷ましてからご使用ください。</li> <li>- 短時間に何度も自動ブレーカーが作動する場合は粉碎している葉草の節が強い・硬い・乾燥しているなどの理由により連続的に過負荷がかかりすぎている場合があります。過熱保護機能による再稼働を短時間に何度も繰り返すとモーター故障の原因となります。一旦使用を止め、モーターを十分に休ませてください。</li> </ul>

よくあるお問合せ	ご確認ください。
<p>回転盤軸が割れた 漏斗カバーが割れた</p>	<p>交換用パーツをお買い求めください。そのまま使用されると事故の原因となり大変危険です。</p>
<p>細かく粉碎できないで葉が落ちてきてしまう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 本機には、粉碎量とスピードを調整するダイヤルがあります。調整ダイヤルを動かすことで、葉の粉碎破片が荒くなったり細かくなったりします。スピードを早めると粉碎スピードは早くなりますが、粉碎された破片は荒くなります。調整ダイヤルを調整してお試しください。</li> <li>- 刃の部分が割れたり、葉屑に覆われていたり、汚れが溜まったりしていませんか？汚れを取り除き、破損のある場合にはパーツを交換してください。</li> <li>- 切断コードは消耗品です。コードが擦り切れて薄くなっていたり、切れたり曲がったりしていると、うまく粉碎されずに葉がそのまま落ちていく場合があります。摩耗した切断コードはすぐに交換してください。</li> <li>- 使用後の刃は乾いた布で汚れや水分をよく拭き取ってください。サビの原因となります。</li> </ul>
<p>突然止まって本体を休ませても再稼働できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 炎天下での使用や過負荷での稼働時に内蔵自動ブレーカーが作動することがあります。こちらの製品はオーバーヒートすると安全装置が数時間下りない場合がございます。その場合は十分に時間をおいて冷却させてから、今一度再稼働をお試しください。</li> <li>- 二日以上本体を休ませ、詰まりを取り除いても再稼働できない場合は内部トラブルの可能性がございます。弊社お問合せ窓口にお問合せください。</li> </ul>
<p>モーター音はなるが、回転軸が回転していない</p>	<p>内部トラブルの可能性がございます。ただちに使用を停止し弊社お問合せ窓口までお問合せください。</p>

